



ロータリー:
変化をもたらす

相模原大野ロータリークラブ

◆会 長: 笠井 透 ◆幹 事: 角尾 彰央 ◆会長エレクト: 座間 勇
 ◆S A A: 布野 一喬 ◆会報委員: 宮崎雄一郎 ◆URL: <http://www.s-oono-rc.jp>
 ◆事 務 局: 〒252-0238 相模原市中央区星が丘 3-5-16 ◆TEL/FAX: 042(755)0901
 ◆例 会 場: 相模原ゴルフクラブ 〒252-0331 相模原市南区大野台 4-30-1
 ◆例 会 日: 毎週水曜日 12:30~13:30 ◆E-mail: oono-rc@mx1.alpha-web.ne.jp

平成 30 年 1 月 24 日 第 1162 回例会

会長の時間: 笠井透

会長も 3 回目となると、話す内容にも苦慮します。3 回経験して、漸くロータリー会員になれたという感覚で、最低でも“四つのテスト”は守れと言われているような気がします。昨日、書類等を整理していたら、50 年位前の雑誌“おゝロータリアン”をコピーしたものが出てきました。私に「勉強しろ」と先輩が下さったものだと思いますが、残念ながら読んだ記憶がありません。改めてページを開くと、職業奉仕に関して、当時の皆さんも悩んでいた様子が伺えます。当時のガバナーや会長が蘊蓄を述べていますが、職業奉仕を大切にしている事に変わりなく、私は自分の職業に真摯に向き合えば良いと思ってきました。金沢北 RC が 40 数年前に、ロータリー信条として“四つのテスト”を、嘘偽り無理はないか、正々堂々筋が通っているか、善意と友情に徹しているか、世の為人の為になるかどうか、と訳しています。ロータリアンとしての職業奉仕の根幹であると、当時から言われていることが分かります。長くロータリーに籍を置けば、少しずつ物事は分かって来ます。職業奉仕の何たるかを難しく言われても、直ぐには理解できませんが、その場その場で、素晴らしい方々との出会いやお話を聞きながら、私も少しは感化され、ロータリアンとしてやって来ました。ロータリーの友 1 月号に、元 RI 理事の松宮剛 PG が“職業奉仕について考える”をテーマに寄稿されています。実は、私が初めて会長を務めた時の同期会長で、格の違いを感じます。話をしているロータリーへの造詣が深く、私などは新会員の様で、内容が難しく理解するのが大変でした。ロータリアンには色々な人がいます。特に新会員には、難しい言葉でなく、噛み砕いてお話し、惹きつける努力をして行くべきだと思います。私達の同年代、同期には立派な方が沢山いて誇りに思います。ロータリーでの出会いを大切に、多くの人と交流する機会を積極的にもって、職業奉仕しかり、様々な場面で活かして頂きたいと思います。

幹事報告: 角尾彰央

例会変更 ※ビジター受付=クラブ事務局 ※受付無

1/25 (木) 相模原※

1/26 (金) 大和田園

週報受領 相模原南

ビジター&ゲスト 竹内 健 様 (相模原 RC)

《理事会報告》

- * 創立 25 周年講演者・・・パラリンピック陸上/鈴木徹選手
- * 2 月プログラムの確認・・・クラブ HP でご確認を
- * 3RC 合同例会は保留 (幹事預かり)
- * 会員増強の件・・・35 歳未満&起業 3 年未満の入会者の年会費は 16 万円とし、R 財団寄付は 100\$ 以上をお願いする。米山特別寄付は任意とする。
- * 献血日程・・・5/19 (土) に実施 (5/23 の移動)

卓話: ポリオ・プラスセミナー報告

SERVING HUMAN 奉仕プロジェクト委員長 田所啓二 会員

スタッフ・ベンダ・ビリリというバンドの“POLIO”という曲を聴いて頂きました。アフリカのコンゴ民主共和国の首都キンシャサで、路上生活をしていたポリオ障害者とストリートチルドレンで結成されたバンドです。「ベンダ・ビリリ」とは、「外見を剥ぎ取れ」という意味で、「内面の精神を見ろ」と言う事です。彼らは、ベルリン音楽祭でアーティスト賞を受賞するなど、世界中で精力的にライブ活動を行っていて、アメリカを代表するバンドになっています。昨年 11/21 に開催された、第 2750 地区のポリオ・プラス・セミナーで紹介されたので、皆様にも聴いて頂きました。今日は、そのセミナー報告をさせていただきます。

第 2750 地区の坂本俊雄 PG「八王子南 RC/第 2 ゾーンポリオコーディネーター」にお話を頂く予定でしたが、前日の講演で倒れられ当日はキャンセルになってしまいました。開会挨拶をした田中靖氏 (ポリオ・プラス委員長) が代理でプレゼンをしました。基調講演①として「ポリオ根絶と日本の貢献」と題し、一般



竹内様、2 週連続有難うございます!

社団法人 JIGH (Japan Institute for Global Health) の代表理事である渋谷健司氏の講演を聞きました。基調講演②として「ポリオの最期を見届けたい。ロータリーへの感謝とお願い」と題し、ポリオの会の稲村敦子さんの講演を頂きました。基調講演③として「ポリオとロータリーと私」と題し、第 2830 地区 (青森) の関場慶博 PG (弘前アップル RC) の講演を聞きました。最後に、第 2750 地区のポリオ撲滅関連事業の案内がありました。一つはチャリティコンサートの開催です。東京サンライズ汐留 RC が主催した、アメリカの有名なコーラスグループ、ザ・スタイリッシュのディナーショーは 1 人 3 万円ですが、収益は全額寄付されたそうです。東京渋谷 RC が主催した、「アングーマネジメント入門講座」は青山学院大学の講堂 (150 名収容) を借り切って開催されました。受講料は 1 人 3,500 円で、全額ポリオ撲滅に寄付すると紹介がありました。閉会の言葉は、第 2750 地区の財団委員長、高橋茂樹氏 (東京世田谷 RC) のご挨拶で、全体で約 2 時間半のセミナーでした。

それでは、田中靖氏の「ポリオの現状について」のお話を紹介します。ポリオとは、どのような病気かに始まり、日本語での正式名称は「急性灰白髄炎」、英語では「poliomyelitis」と言います。人から人へ感染 (経口感染・飛沫感染) する感染症です。感染者は便にウイルスを排出し、経口感染したウイルスが腸で増殖し、血流に乗って神経組織を冒します。灰白髄は脊髄の中の運動神経が集まった所で、そこを好んでポリオウイルスが冒すので、急性灰白髄炎と呼ばれています。有効な治療法がなく、唯一ワクチンによる予防接種のみが有効な感染症です。国際ロータリーが、ポリオ・プラスプログラムを開始した 1985 年当時の症例数は、世界の 125 ヶ国で推定 35 万件以上あったそうで、確定数はもっと多いのではないかとされていました。現在 (2017 年) はトータルで 22 件になっていました。99.9% 以上は撲滅した訳ですが、残り 0.1% がラストワンマイルと言われ、極めて困難な状況にあります。ポリオが、医療だけの問題ではなくなっているからです。常在国 (パキスタン・アフガニスタン・ナイジェリア) が、紛争や貧困という医療とは無関係の政治・

接種が困難な状況になっています。先日 CNN ニュースで、パキスタンで再びポリオ予防接種活動中の医療従事者を警護する警官が武装勢力に襲撃され、7 人殺害と報道されていました。ワクチン接種が出来れば撲滅できるのにそれが出来ないという報告でした。

①渋谷氏の講演の中で、最も印象に残っているのは、JICA (国際協力機構) とパキスタンとの、ローン・コンバージョンの話でした。ゲイツ財団と連携し、日本政府がパキスタン政府に融資し、パキスタン政府が直接ポリオ撲滅に取り組み、一定の成果を上げたらゲイツ財団がパキスタンに代わり、日本政府に返済する仕組みです。これは、確実に成果を上げさせるためのもので、ゲイツ財団が日本との連携を望んだのは、パキスタンがどの国を信頼しているのか、徹底的にリサーチした結果です。パキスタンは、諸外国の中で圧倒的に日本を信頼しているそうです。成功への鍵は信頼です。ワクチン接種の資金が欲しいパキスタン、ポリオ撲滅を推進させたいゲイツ財団、金銭的負担なく国際貢献できる日本政府、三者共に得のある画期的な仕組みで日本の信頼の揺るぎなさを再認識しました。

(次号に続く)

R 財団寄付表彰

- P・H・F 角尾彰央 会員
- 〃 (2 回) 加藤良夫 会員
- 〃 (4 回) 藤井啓三 会員
- 〃 (4 回) 座間 勇 会員
- 〃 (4 回) 笠井 透 会員



スマイル報告 今年度累計 ¥203,000

小口伸夫 会員 竹内さん、2 週連続ですね。ありがとうございます。次回は入会届を用意してお待ち申し上げます。

大野治雄 会員 雪かきで大変でした。徹夜で国道・県道、市道をやっています。

角尾彰央 幹事 竹内様、連続 2 回目のメイクアップ有難うございます。このまま相模原大野 RC への移籍をお願いします。

今後の予定

- 2/7 (水) 夜間移動例会 (例会場休業日の為)
- 2/14 (水) 【平和と紛争予防/紛争解決月間に因んで】布野会員
- 2/21 (水) クラブ協議会 << 創立 25 周年について >>
- 2/28 (水) 3RC 合同例会 (調整中)

出席報告 経済・社会的な事が原因で、ワクチン

会員数	免除者	出席者	欠席者	他 RC メイク	その他 R 活動	本日の出席率	修正出席率
13 名	1 名	9 名	3 名	0 名	1 名	75.00 %	1/10 83.33 %